

中長期の宇宙研究開発の推進方策の検討について 【宇宙科学分野】

令和8年 7月23日

研究開発局宇宙開発利用課

中長期の宇宙研究開発の推進方策の検討について【宇宙科学分野】

- 我が国における「宇宙科学・探査」は、独創的なアイデアによる人類共通の卓越した知の創出と、宇宙空間における人類の活動領域の拡大を目指し、ボトムアップを基本とした宇宙科学研究所を中核とするコミュニティが先導して推進。
- JAXAと関連企業が総力を集結させた高い技術力を継承・発展させて、世界的な科学的成果創出を図ることで、産業競争力の強化や国際的なプレゼンス向上に貢献するとともに、我が国の宇宙開発利用を支える研究者や技術者の育成にも大きく貢献。
- 現行の宇宙基本計画においては、宇宙科学・探査について、「**研究者からの提案に基づくボトムアップを基本としてJAXAの宇宙科学・探査ロードマップを参考**」にして推進することとしているところ、現在、宇宙科学研究所を中心としてロードマップの改訂作業を進めている中で見出された、宇宙科学分野をとりまく現状と課題、今後の推進方策の考え方等の報告に基づき、ご議論をいただきたい。

宇宙基本計画（令和5年6月13日閣議決定）【抜粋】

4. 宇宙政策に関する具体的アプローチ

（3）宇宙科学・探査における新たな知と産業の創造に向けた具体的アプローチ

（a）宇宙科学・探査

宇宙科学・探査ミッションについては、研究者からの提案に基づくボトムアップを基本としてJAXAの宇宙科学・探査ロードマップを参考にしつつ、今後も一定規模の資金を確保し、推進する。今後10年間では、戦略的に実施する中型計画に基づき3回の衛星・探査機の打上げ又は海外主導ミッションへの中型計画規模での参加及び主として公募により実施する小型計画に基づき、2年に1回のペースで5回の衛星・探査機の打上げを目指すとともに、戦略的海外共同計画（海外主導ミッションに中型計画の規模を上回らない規模で参加することも必要に応じ検討）や小規模計画に基づきミッションを推進する等、より小規模なミッションでの成果創出機会も確保する。